

ロボカップ・シミュレーションリーグ秋季キャンプ 2005報告

| | |
|--------|---|
| 著者 | 星野 孝総 |
| 雑誌名 | 知能と情報 : 日本知能情報ファジィ学会誌 : journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics |
| 巻 号 | 18 3 |
| ページ | 445-447 |
| 発行年 | 2006-06 |
| URL | http://hdl.handle.net/10173/281 |

報告

ロボカップ・シミュレーションリーグ 秋季キャンプ2005 報告

星野 孝総

1. ロボカップ春季キャンプの目的

ロボカップとは、ロボット工学と人工知能の融合と発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として、世界各地の研究者や技術者が最先端の技術を競う国際的なランドマーク型プロジェクトです。1992年に大会を運営する団体が結成され、1997年からは世界大会が毎年開催されています。2005年7月には大阪でも世界大会が開かれ、日本をはじめとする世界中の研究分野から注目を集めています。

ロボカップ・シミュレーションリーグ秋季キャンプは、ロボカップ日本委員会が毎年開催する試合形式の交流会です。参加は自由で練習試合や意見交換を重視し、競技参加なしでも参加できる大会です。秋季キャンプの他に、春季競技会、ジャパン・オープンがロボカップ日本委員会主催で開催されています。

大会に参加するとこんな特典があります。

- 大学で学んだ知識・技術をエージェントに実装し、全国のロボカップパー (RoboCupper) 達と共に実戦で試せる、大会の運営を通じて計画・立案や共同作業など体験できる。
- 全国のロボカップパーとの交流をもつことができ、情報交換、意見交換などができる。そこから普段得られない経験や学びの機会を得ることができる。
- 世界的な大プロジェクトであるロボカップ・プロジェクトの一端を担うことで、ロボカップの発展にわずかながらでも貢献することができ、やる気が湧く。

2. 会期/スケジュール

- 会 期 2005年12月22日(木)23日(祝)
- 場 所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
セントラルアーク内：
会場1：1階ドリームクロスラウンジおよびステージ

会場2：3階プレゼンテーションスペース

- プログラム：2Dサッカーリーグでは、予選を3リーグに分かれて同時進行で行いました。決勝トーナメントでは予選リーグの上位2チームがトーナメントに出場しました。3Dサッカーリーグ、レスキューリーグは同時進行で試合が行われました。

12月22日(木)

- 13：00～17：00 設営作業、チームリーダーミーティング

12月23日(祝)

- 10：00～12：00 予選リーグ
- 13：00～14：00 講演1

「広がる研究を受け止めるフィールドとしてのロボカップ」

講師 西野順二氏

(電気通信大学電気通信大学システム工学科・助手)

- 14：00～15：00 講演2

「ソフトコンピューティング手法を用いたRoboCupエージェント開発」

講師 中島智晴氏

(大阪府立大学工学部知能情報工学科・助教授)

- 15：00～17：00 決勝トーナメント

■ 主 催 ロボカップ日本委員会、立命館大学情報理工学部

■ 参加団体 立命館大学、東京大学、大阪大学、東京工業大学、福井大学、大阪府立大学、電気通信大学、仁愛大学、早稲田大学、産業技術総合研究所、東京工科大学、工学院大学、芝浦工業大学、旭川工業高等専門学校、他数参加

3. 初日

初日は、豪雪で交通機関ままならない状態でした。高速道路も大渋滞という悪条件の中、ロボカップパー達は滋賀県の立命館大学に集結しました。その熱意に感謝感謝でした。クリスマスキャンプの称号をもらった本大会では、2Dサッカーリーグ・3Dサッカーリー

グ・レスキューリーグの試合が企画されました。初日のミーティングは大幅に遅れて始まりました。2Dサッカーサーバはすでに構築してあったので、そのまま利用することになりました。3Dサッカーサーバとレスキューサーバは、立命館大学情報理工学部知能情報学科の亀井研究室と立命館大学情報理工学部のロボカップサークル側からコンピュータを借り、それぞれ設定してもらいました。設定を開始して結局終わったころには、すっかり夜になっていました。その後、宿泊施設エポック立命21のミーティングルームにてリーダーミーティングを開きました。ここでは、くじ引きで明日の大会予選リーグの組み合わせを決定しました。くじ引きについて参加者からの「参加チームとメンバーの顔・名前が解って良かった。」と意見をもらいました。ワイワイと和やかな雰囲気で行われ、ロボカップー達の楽しそうな顔が印象的でした。

3. 大会・講演

翌日の大会は、1階ドリームクロスラウンジおよびステージで2Dサッカーリーグ、3階プレゼンテーションスペースで3Dサッカーリーグとレスキューリーグの試合が開催されました。2Dサッカーリーグは参加者が多いこともあり、ステージのスクリーンとは別に2つのスクリーンとプロジェクタを持ち込み、予選3リーグを同時開催しました。

予選リーグ終了後、予定を少し変更して「広がる研究を受け止めるフィールドとしてのロボカップ」のタイトルで西野先生(電気通信大学電気通信大学システム工学科・助手)にご講演を頂きました。この講演では、ロボカップがこれまで歩んできた軌跡を詳細かつ楽しく話して頂き、さらにエージェント研究としてのロボカップについてご講演いただきました。その後、昼食タイムを挟んで、「ソフトコンピューティング手法を用いたRoboCupエージェント開発」のタイトルで中島先生(大阪府立大学工学部知能情報工学科・助教授)にご講演を頂きました。この講演では、ニューラルネットワーク、ファジィ、進化計算をサッカーエージェントに知能として組み込んだ成果についての報告されていました。ロボカップー達には新鮮に見えたらしく、真剣にメモを取っている姿を目にしました。彼らの今後の飛躍に期待します。

講演の終了後2Dサッカーリーグでは、予選を突破したチームが紹介され、決勝トーナメントが開催されました。3Dサッカーリーグとレスキューリーグでは、参加チーム数も少ないこともあり、適宜試合を行っていました。これぞキャンプといった感じでした。



写真1 1階ドリームクロスラウンジおよびステージ

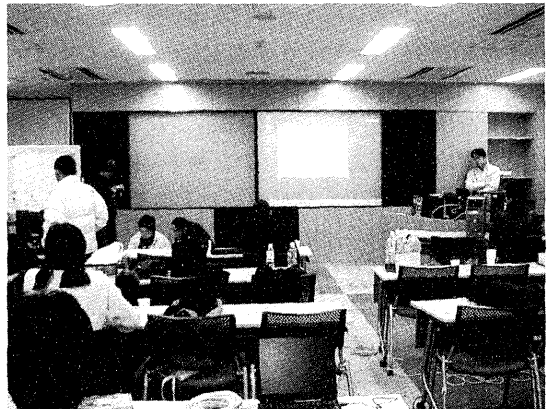


写真2 3階プレゼンテーションスペース

4. 懇親会

大会終了後に懇親会がリンクスクエアカフェテリアで開かれました。ここでも、ロボカップー達の笑顔と笑い声が響いていました。試合での成果や研究の話など真剣な場面もありました。産業技術総合研究所の野田先生から各リーグの優勝者にマウスパッドの贈呈が行われました。このマウスパッドには、参加者全員の寄せ書きがされていました。結果は、2Dサッカーリーグが東京工業大学Tokyo TechSFC、3Dサッカーリーグとレスキューリーグは東京大学YowAIが獲得しました。この大会がロボカップー達の交流の場になったようで、素晴らしい大会でした。



写真3 懇親会のようす

[問い合わせ先]

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

高知工科大学 電子・光システム工学科

星野 孝総

TEL: 0887-57-2114

FAX: 0887-57-2120

E-mail: hoshino.yukinobu@kochi-tech.ac.jp